

2026年
12月

金融サイバーセキュリティ カンファレンス 2026 秋

開催日 : 2026年12月17日(木)

申込締切 : セッションプラン ...2026年11月20日(金)
リストプラン ...2026年12月10日(木)



一般社団法人 金融財政事情研究会

ITmediaビジネス
ONLINE

開催概要

名称	金融サイバーセキュリティカンファレンス 2026 秋	イベント形式	複数社協賛型デジタルイベント
主催・企画	 一般社団法人 金融財政事情研究会	事前申込者数	想定150名
企画協力		想定視聴者属性	メガバンク、 地方銀行（第一地方銀行、第二地方銀行）、 信用金庫、信用組合、保険会社、 証券会社等金融機関 の経営者・役員クラス、部長クラス、課長・支店長クラス、 セキュリティ担当部署の方など
開催日	2026年12月17日(木)	告知・集客	 一般社団法人 金融財政事情研究会 
申込締切	セッションプラン …2026年11月20日(金) リストプラン …2026年12月10日(木)	運営	アイティメディア株式会社

本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

金融業界の課題解決に向けたカンファレンス

本企画は一般社団法人金融財政事情研究会とITmedia ビジネスオンラインによる共同オンラインセミナーになります。
メガバンク、地方銀行、信用金庫、信用組合、保険会社、証券会社等の金融機関エグゼクティブ層が参加する貴重な情報提供の場となります。

今や、業態を問わずあらゆる企業がサイバー攻撃のリスクにさらされています。攻撃側は常に手口を進化させ続けており、セキュリティ上の弱点を見つけて侵入を試みます。顧客データや取引データなど多くの機密情報を抱える金融機関は、常に最新の攻撃に対応したセキュリティ対策を構築し更新し続けていくことが必要です。本カンファレンスでは、サイバー攻撃の最新の手口などセキュリティ対策を取り巻く動向を紹介し、金融機関の遺漏なきサイバーセキュリティ対策実行のための方策を考えます。



メディアガイド | 一般社団法人 金融財政事情研究会

金融財政に関する知識の啓蒙普及を行うとともに、内外の金融財政問題、金融機関経営分析等の総合的調査研究を行い、合理的金融財政政策の実現、金融市場、金融機関の健全な発展並びに学術の振興に寄与することを目的とした、一般社団法人。発行する「週刊金融財政事情」は全金融関係者必読の情報誌とされている。



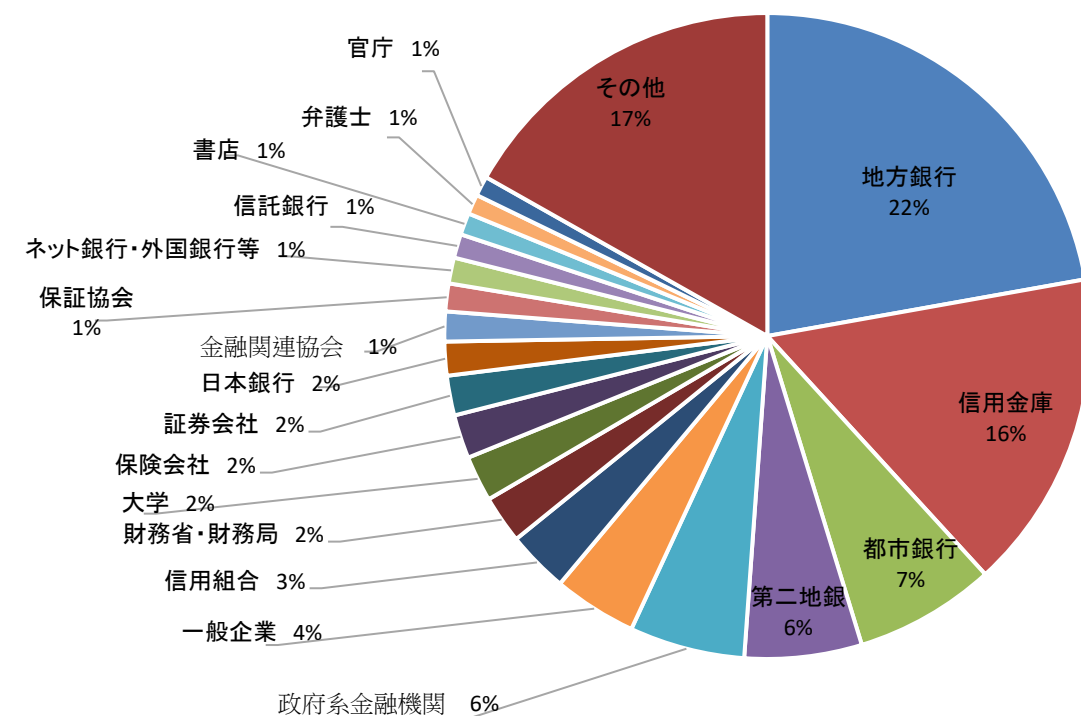
／全金融関係者必読の情報誌／

発行部数 **45,000部**

閲覧者数 **50,000人**

※WEB版も含む

『週刊金融財政事情』定期購読先分類



「デジタル戦略リーダー」に向けた実践情報メディア

- 媒体名
- 媒体資料
- URL
- 月間PV
- 会員数

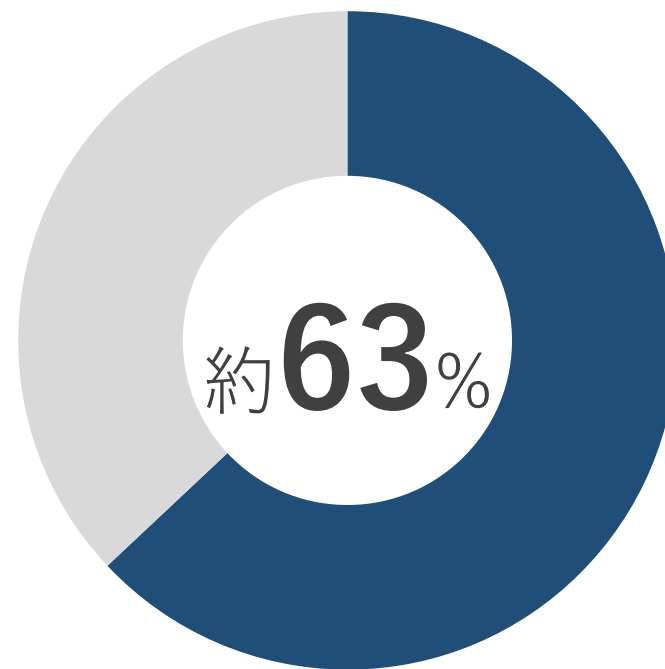
ITmedia ビジネスオンライン

<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2020-09-30/sx438b>

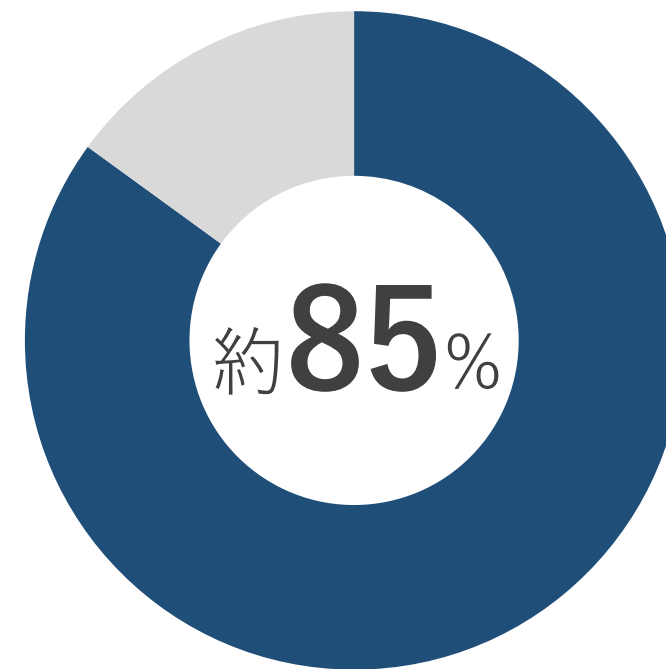
<https://www.itmedia.co.jp/business/>

約1800万 PV ※2025年2月実績

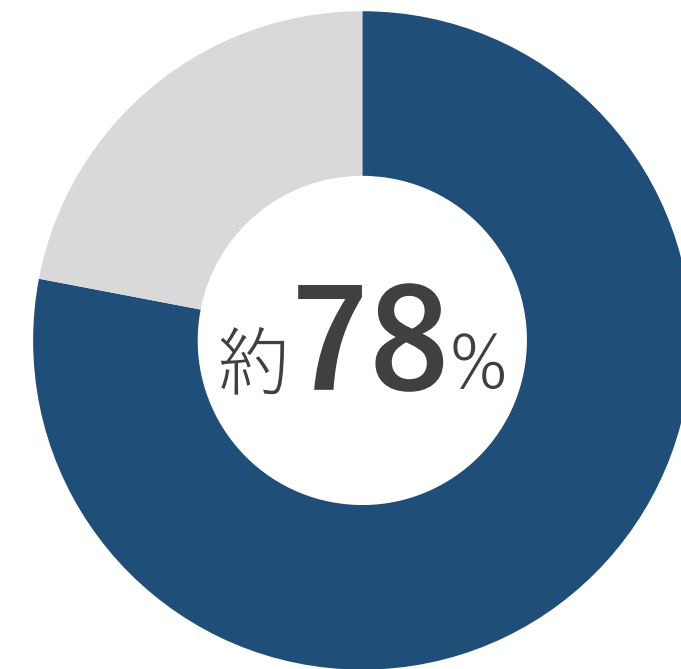
約28万人 ※2025年2月実績



DX推進関与者



業務プロセスの
デジタル化に関心



ビジネスモデル変革に関心

過去登壇講師

「預金取扱金融機関の
耐量子計算機暗号の対応に関する
検討会報告書」を踏まえて

金融庁
総合政策局
リスク分析総括課 参事官

五十嵐 ほづえ 氏

変化するサイバー脅威動向と
金融機関としての対応

みずほフィナンシャルグループ
常務執行役員
情報セキュリティ担当（グループCISO）

寺井 理 氏

量子コンピュータの進展と
耐量子計算機暗号（PQC）対応

NTTデータ
金融イノベーション本部 ビジネスデザイン室
ビジネスイノベーション統括部長

山本 英生 氏

金融機関における
サイバー攻撃への対応の要諦

牛島総合法律事務所
パートナー弁護士
情報処理安全確保支援士

小坂 光矢 氏

地方銀行が挑む
「AI時代のサイバーセキュリティ戦略」
—脅威インテリジェンスの活用—

横浜銀行
ITソリューション部
セキュリティ統括室 室長

佐藤 大悟 氏

※所属、役職は登壇当時のものです。

タイムテーブル

時間	枠時間	
10:00-10:30	30分	基調講演
10:40-11:10	30分	スポンサーセッション 1
11:20-11:50	30分	特別講演 1
12:00-12:30	30分	スポンサーセッション 2
13:30-14:00	30分	特別講演 2
14:10-14:40	30分	スポンサーセッション 3
14:50-15:20	30分	スポンサーセッション 4

※スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたします。

ご協賛メニュー

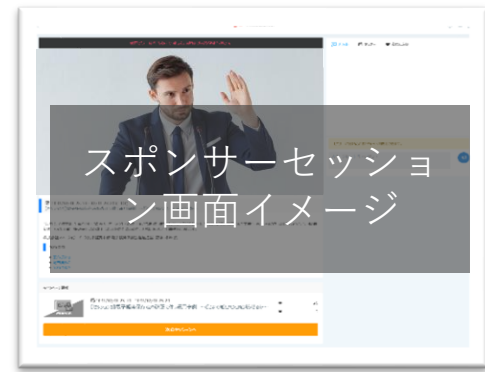
	セッションプラン		リストプラン
	スポンサー セッション1、 2	スポンサー セッション3、 4	
スポンサーセッション Live配信＋アーカイブ	●	●	—
全申込者リスト	150名想定	150名想定	150名想定
セッションアンケート	●	●	—
視聴者データ・レポートサイト	●	●	—
事前アンケート結果	●	●	●
スポンサーロゴ掲載	●	●	●
資料配布	●	●	—
開催報告書	●	●	●
料金 （すべて税別・グロス価格）	¥3,500,000-	¥3,000,000-	¥2,500,000-

※お申込者数は想定値となります。
※ご協賛状況により、実施は見合わせする場合がございます。事前のご了承、およびお申込み締切にご協力頂けますようお願い致します。
※スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたします。

ご協賛メニュー 詳細

| スポンサーセッション

- 製品やサービスをPRできるスポンサーセッション枠をご利用可能



| 全申込者リスト

- イベントに申込みをされた全申込者の名刺情報のリストをご提供
- ご提供情報：
名前・会社名・部署・役職・住所・電話番号・メールアドレス・職種・役職クラス・従業員規模・関与など
- イベント終了後3～5営業日以内にExcelデータ形式にて納品

| セッションアンケート

- 貴社のセッション枠の時間内に独自のアンケートを実施
- 単一回答・複数回答・自由回答の3種類を組み合わせる自由設定可能
- アンケートボタンを押すと、ポップアップで表示

| 視聴者データレポートサイト

- セッションのレポートサイトをご提供
- ご提供情報：
会社名・部署名・役職・電話番号・メールアドレスなどの名刺情報
※DL可能

| 事前アンケート結果

- 事前登録時に製品選定における立場など（BANT情報）等も合わせてご提供
- ※アイティメディア側で設定のため個別設定不可

| スポンサーロゴ掲載

- イベントの集客サイトに貴社のロゴを掲載、貴社サイトへのリンクを設定可能

| 資料配布

- 貴社セッション内で視聴者に向けて資料の配布が可能
- 配布点数：ご講演資料+3点まで
- PDFデータを送付いただきダウンロードリンクとするほか、貴社の指定外部リンクを設定することも可能

| 開催報告書

- アイティメディアで一般来場者へアンケートを実施 集計結果を開催報告書として会期終了後にご提供
- 個人情報は含まない集計データでの提供

※画像はイメージです。

| LIVEセッション録画データ納品

セッション動画を逃さず活用！ プレゼンの力を倍増させる録画データ納品

- セッションありのプランにお申し込み頂き、実際に配信した貴社のLIVEセッションの録画データを納品。
- mp4形式
- 配信時のままの状態となるため編集不可。

料金 **¥50,000～**

| セッション収録サポート

プロ仕様のセッション動画制作！ 手軽に魅力を伝えよう

- 30分のセッション動画の収録をサポート。
- 専用のプロ機材と収録会場を提供
- オンラインでの収録も対応。
- 開催日の1.5カ月前までのお申込み必須。
- 講演者が2名以上の場合など、収録内容に応じて追加費用が発生する場合がございます

料金 **¥200,000～**

ご講演コンテンツ納品 + 「週刊 金融財政事情」掲載

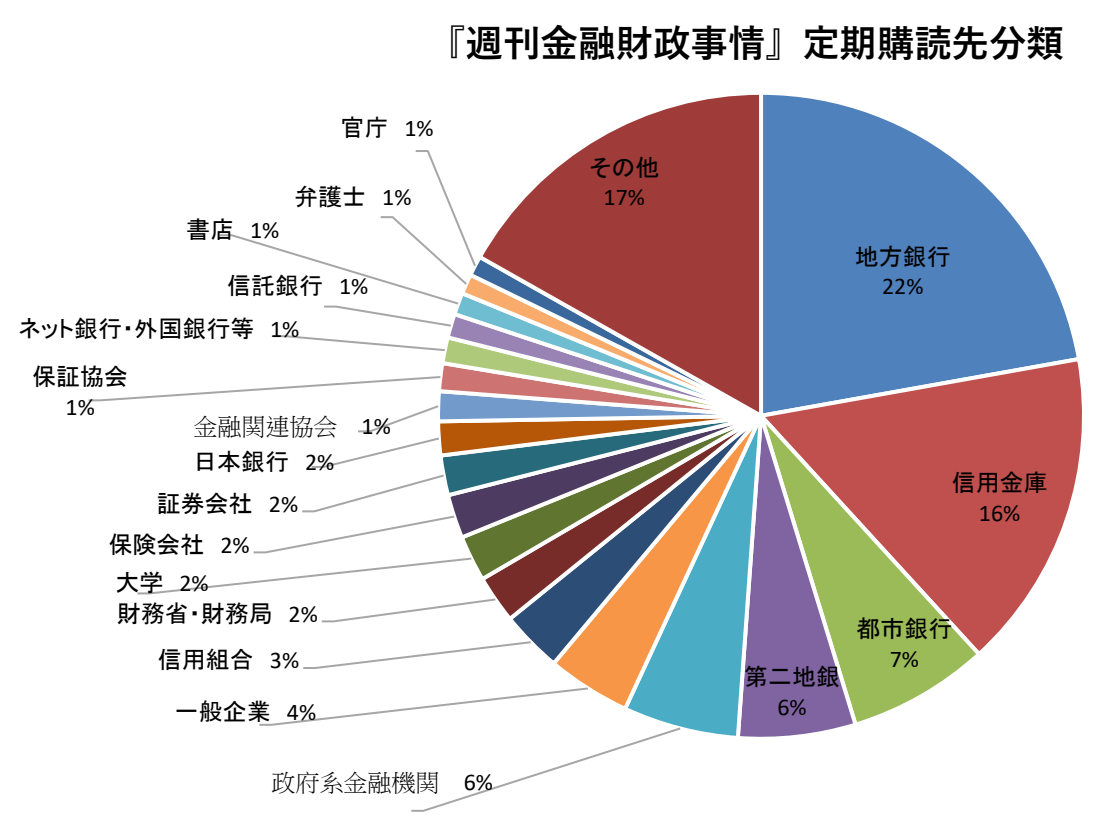
ご講演内容を記事化・ご納品

「週刊 金融財政事情」誌面掲載

- ご講演を二次利用化のコンテンツとして制作してご納品
貴社サイトやカタログ、営業資料などに利用いただけます
- 貴社の販促目的であれば、グループ会社やパートナー企業へ共有可能です

- 制作したコンテンツを「週刊 金融財政事情」に記事広告（2P）として掲載
- 約50,000人の閲覧者にご講演内容を届けます

- 基本仕様
 - ・制作ボリューム：2,600文字以内 + 写真(もしくは図版) 2点
 - ・基本納品物：記事テキスト + 使用画像 / 図版データ
- ご注意事項
 - ・コンテンツ制作はアイティメディア [「受託コンテンツ制作」](#)の「プランB」に沿った制作とご納品になります
(文字数/写真点数は金融財政事情掲載に沿います)
 - ・二次利用範囲に制限はございません
 - ・本プランではアイティメディアへの掲載を含みません。
ご希望の際には別途お申し付けください

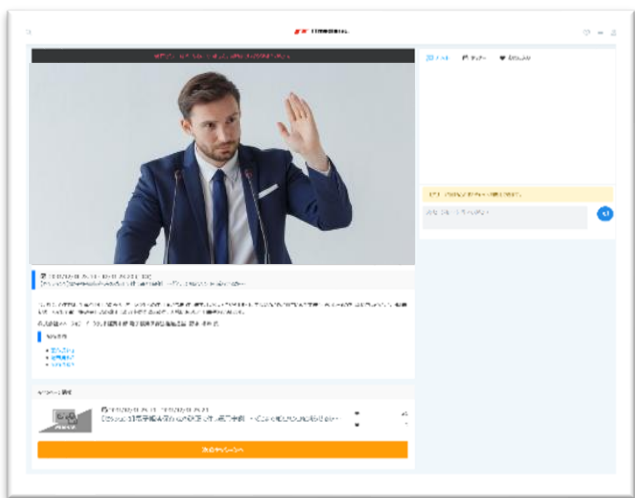


料金 **¥1,600,000**

※オプションのみでのお申込みはできません。(すべて税別・グロス価格)
※オプションは早期割引の対象外となります。

| ご講演コンテンツ納品

ご講演内容を記事化してご納品 自社コンテンツとしてご活用いただけます



- ご講演を二次利用化のコンテンツとして制作納品。貴社サイトやカタログ、営業資料などに利用いただけます
- 貴社の販促目的であれば、グループ会社やパートナー企業へ共有可能です

- 基本仕様
 - ・制作ボリューム：4,000文字以内＋ 講演写真（4点）
 - ・基本納品物：記事テキスト＋ 使用画像 / 写真 / 図版データ

- ご注意事項
 - ・コンテンツ制作はアイティメディア [「受託コンテンツ制作」](#)「プランB」に沿った制作とご納品になります
二次利用範囲など詳細は上記URLを参照ください。
 - ・本プランではアイティメディアへの掲載を含みません。
ご希望の際には別途お申し付けください

料金

¥900,000

※オプションのみでのお申込みはできません（すべて税別・グロス価格）
※オプションは早期割引の対象外となります

| ご講演コンテンツ納品について

ご講演コンテンツ制作ならびご納品に関する注意事項

■ ご注意事項

- ・ 前ページのコンテンツ制作は[「受託コンテンツ制作」](#)の「プランB」に沿います
メディア編集部が監修する「プランA」をご希望の場合は差額（¥100,000 ネット/税別）を申し受けます
- ・ PDF（PDF/X）での納品をご希望される際には別途製作費（¥50,000 ネット/税別）を申し受けます
PDFはアイティメディアのテンプレートを利用します（お客様持ち込みテンプレート適用の際には別途ご相談ください）
- ・ 図版はご支給ください（講演時の写真撮影は料金に内包されています）

※オプションのみでのお申込みはできません。
※オプションは早期割引の対象外となります。

イベントレポート + きんざいOnline掲載

ご講演内容をタイアップ記事として制作
ITmedia ビジネスオンラインと きんざいOnlineに掲載します



「記事広告/タイアップは必要か
基礎から分る「B2Bプロモーション」 効果的な「媒体×手段」を選ぶには

自社素材がB2B領域のものである場合、どのように宣伝・マーケティングを行うべきだろうか。一見すると簡単な見えない「記事広告（タイアップ記事広告）」は必要なのか、B2B専門の広告プランナーに質問してみた。

※ ITmedia | 2024年12月12日 10時00分 公開

宣伝やマーケティング担当者のあるミッションは「広告を出稿して効果を得る」ことで、その方法が多岐にわたる。自社素材がB2B領域のものならターゲットが明確に存在しているため、「広告を出稿して」とどのような効果を得るか、は簡単に検討する必要があらる。

広告の出稿先は長らくマスメディア、つまり新聞、雑誌、TV、ラジオが主流だった。ここに「インターネットメディア」を加えたらメディアが対象にアプローチするための「媒体」候補となる。この媒体を選定した上で、掲載や掲載、テキスト、音声などの中からメッセージを発信するための「手段」を検討してはならない。

「媒体×手段」の組み合わせは多種多様なため、自社のビジネスや製品、サービスに適した媒体×手段を探すのは資料が豊富に、ターゲットの購買意思や予算状況などは常に変化しているため、1つの媒体×手段を継続利用すれば良いというものでもない。

では、B2B領域の自社素材を効果的に訴求するためにはどのような方針で媒体×手段を検討していくが正解だろうか。ITや製造、ビジネスといったB2B領域で多くのWebメディアを運営するアイティメディアで、広告の商品企画ならびにプランナーとして活躍する渡邊 宏氏に話を聞いた。

効果的な媒体×手段を選び抜くための「注意点」とは

――早速ですが、B2Bの自社素材を訴求するために広告を出稿する場合、どのような方針で媒体×手段を検討していくのが良いのでしょうか

渡邊氏 媒体や手段の話をする前に、一つ注意点があります。B2B領域の媒体は、「一般的な広告」とは考え方が変わるということです。日常生話で目にする広告の多くは「一般消費者」に向けた広告です。

身の回りには食品や化粧品、旅行、交際品などさまざまな商品を紹介する広告がふれまいます。その多くは「個人として購入や消費を検討するもの」を訴求する広告です。「企業」の顧客として購入を検討するものはあまり目に付かないと思います。それはなぜでしょうか。

それは素材によって対象と訴求方法を変える必要があるからです。個人として購入を検討するものに企業の顧客として購入を検討するものでは、購入時の情報検索が異なります。情報検索が異なるのは目的の異なる情報検索をする人にも異なるため、広告やマーケティングの担当者には媒体や手段を考える前に「その商品を買う人の」を把握する必要があります。

――「買う人の」 という言い方は、B2B領域の場合であれば「企業の購買担当者」で、「購入の決定権者」が考えられますね。ここが意図の広告で、そこから効果を考えるということですね

渡邊氏 その通りです。ここでは自分自社のマーケティング担当者で、彼らに提供した「法人向けセキュリティ製品」を買ってほしいと仮定しましょう。

「彼」は企業の購買担当者、 「売りたいもの」は法人向けセキュリティ製品ですね。企業で購買セキュリティ製品の選定や購買を担当する人に、その製品の持つ特徴や購入するメリットを伝えなくてはなりません。



きんざいOnline

掲載/誘導

- ・ITmedia ビジネスオンラインからの記事転載
- ・「きんざいOnline」トップページより1カ月間の誘導あり

備考

- ・きんざいOnline上での誘導が終了した際、掲載記事へのアクセスはできなくなります
- ・誘導広告の内容はお任せ頂きます
- ・きんざいOnlineへの転載時、文字や図版・写真の修正/変更はできません
- ・転載時のお客様確認はPDFでのデザイン確認のみとなります
- ・レポートは「きんざいOnline」仕様に準拠します
- ・コンテンツは本イベントの講演内容に限りです

アイティメディア

商品名 ITmedia ビジネスオンライン PV保証タイアップ

保証形態 PV保証

保証PV 2,000PV

掲載期間 最短1週間～想定2カ月（保証PVを達成次第終了）

仕様

- ・タイアップ記事 1本制作/掲載
- ・取材あり
- ・約3,000～4,000字、図版3点以内
- ・レポート（PV、UB、閲覧企業等）

記事掲載 ITmedia ビジネスオンライン

備考

- ・誘導広告のスペースや原稿内容は当社にお任せいただきます
- ・誘導原稿はアイティメディアが準備します（事前の確認・指定、終了後の開示はできません）
- ・誘導広告は保証PV達成次第、掲載を停止いたしますが、最低1週間は掲載を保証いたします

本企画の入稿規定ならびキャンセル規定は「[アイティメディア全社広告料金表](#)」に準拠します

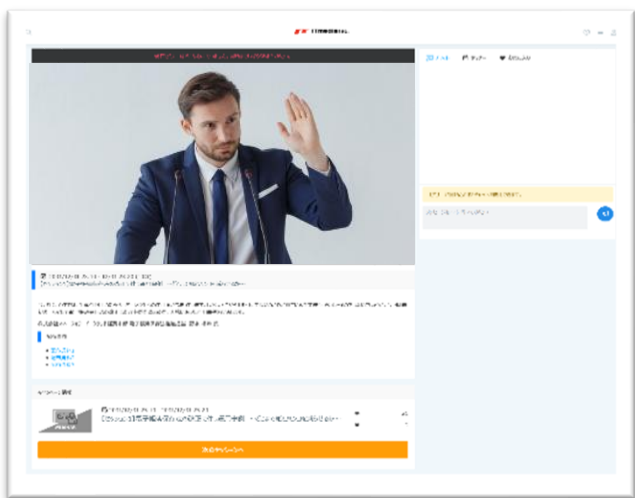
料金

¥1,500,000

※オプションのみでのお申込みはできません（すべて税別・グロス価格）
※オプションは早期割引の対象外となります

オプションメニュー

| ご講演コンテンツ納品について



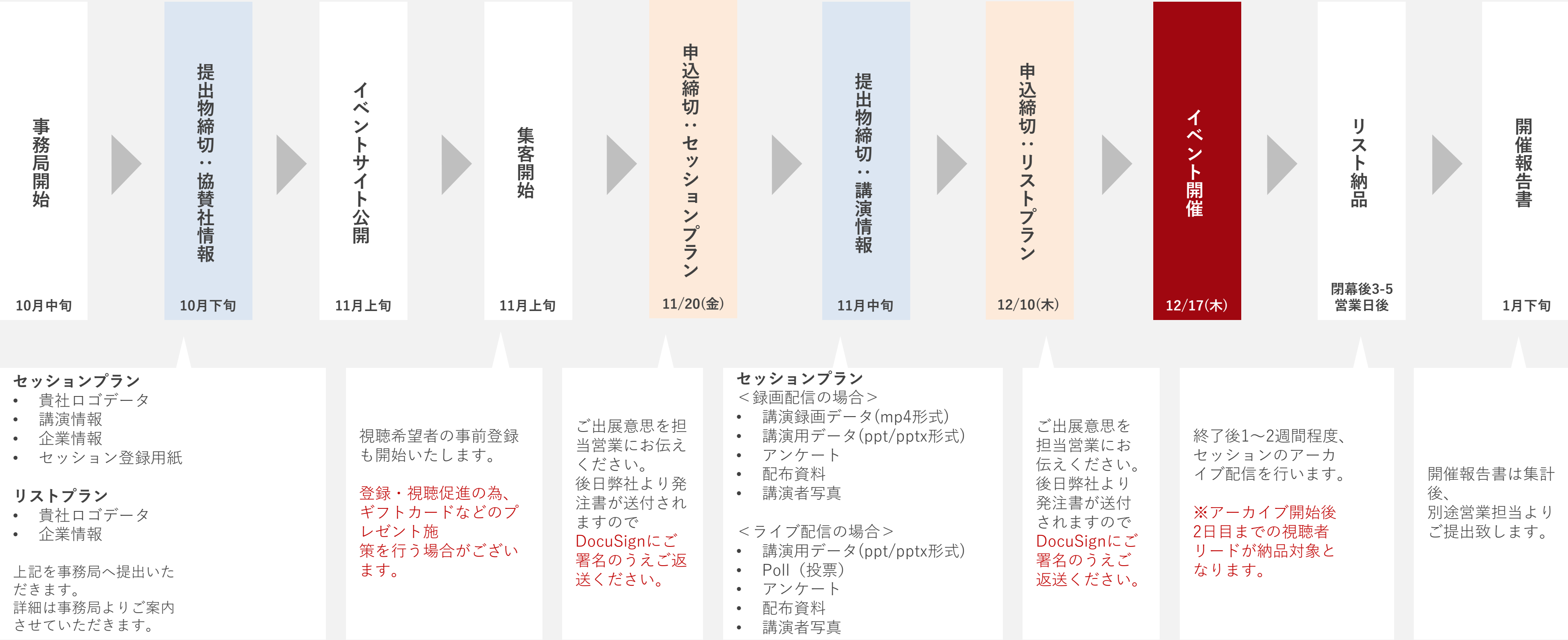
■ ご注意事項

- ・ 前ページのコンテンツ制作は「受託コンテンツ制作」の「プランB」に沿います
メディア編集部が監修する「プランA」をご希望の場合は差額（¥100,000 ネット/税別）を申し受けます
- ・ PDF（PDF/X）での納品をご希望される際には別途製作費（¥50,000 ネット/税別）を申し受けます
PDFはアイティメディアのテンプレートを利用します（お客様持ち込みテンプレート適用の際には別途ご相談ください）
- ・ 図版はご支給ください（講演時の写真撮影は料金に内包されています）

※オプションのみでのお申込みはできません（すべて税別・グロス価格）
※オプションは早期割引の対象外となります

お申込みからの流れ

下記スケジュールは目安になります。状況によって変更になる可能性があり、開催決定後に確定したスケジュールをイベント事務局よりご連絡致します。



ご留意事項

｜キャンセル料につきまして

以下の条件のいずれかに該当する場合、キャンセル料が発生しますので、ご了承ください。

発注書の取り交わし後のキャンセル
登録用紙の提出後のキャンセル
事務局案内開始後のキャンセル

その場合のキャンセル料は以下の通りです。

開催日41日前までのキャンセル ：50％
開催日40日以内のキャンセル ：100％

ただし、上記キャンセル料を超える実費（会場キャンセル料、講師アサインキャンセル料など）が発生する場合には、その追加費用も含めたキャンセル料を請求いたします。

｜消費税につきまして

消費税は別途申し受けます。

｜配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

｜オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク2：ライブストリーミングプラットフォームにおける障害

配信中にバッファをためておくことで、ユーザー環境によって映像の途切れや音声途切れる現象を軽減します。
障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが落ちた場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

リスク3：電源障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。
バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

リスク4：機材障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク5：視聴側における障害

総視聴数に対する単独（10％以下）の視聴不良はそれぞれの環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。
10件単位で同様の症状がみられる（現場でご報告いただいた）場合は、配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

金融サイバーセキュリティカンファレンス 2026 春 | 過去開催実績



タイトル	金融サイバーセキュリティカンファレンス 2026 春
日時	2026年5月14日（木）9:55～16:00 ※5月31日までアーカイブ配信
形式	ライブ配信セミナー
対象	メガバンク、地方銀行（第一地方銀行、第二地方銀行）、信用金庫、信用組合、保険会社、証券会社等金融機関の経営者・役員クラス、部長クラス、課長・支店長クラス、セキュリティ担当部署の方など
参加費	無料
主催	一般社団法人 金融財政事情研究会
企画協力	ITmedia ビジネスオンライン
協賛 （※50音順）	Okta Japan株式会社 SailPoint Technologies Japan合同会社 株式会社TwoFive 東京エレクトロン デバイス株式会社 Pentera Security, Inc. Rubrik Japan株式会社
申込みページURL	https://v2.nex-pro.com/campaign/92459/apply?group=2605_FinanceCS
報告書URL	http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2026-06-01/2d3t8hs

9:55～10:00 主催者挨拶	主催者挨拶 一般社団法人金融財政事情研究会 理事長 加藤 一浩
10:00～10:30 基調講演	金融機関を取り巻く最近のサイバー脅威動向と求められる対策 日本銀行 金融機構局 参事役兼上席考査役（システム・業務継続担当） 塩谷 匡介 氏
11:20～11:50 特別講演1	被害事例から紐解くサイバー危機発生時の経営判断 株式会社Armoris 取締役専務／CTO 一般社団法人金融ISAC アドバイザー 鎌田 敬介 氏
13:30～14:00 特別講演2	地方金融機関の現場で見た組織課題と次の一步 サイバーセキュリティアドバイザー 名和 利男 氏
15:30～16:00 特別講演3	SMBCグループにおけるサイバーセキュリティの取組み 三井住友フィナンシャルグループ 三井住友銀行 サイバーセキュリティ統括部 統括グループ グループ長 柏倉 信貴 氏

金融サイバーセキュリティカンファレンス 2026 春 | 主な申込企業一覧（金融機関コード順、敬称略） -1/2

- 日本日本銀行
- みずほ銀行
- 三井住友銀行
- りそな銀行
- SBI新生銀行
- あおぞら銀行
- セブン銀行
- 大和ネクスト銀行
- ローソン銀行
- UI銀行
- 北海道銀行
- 青森みちのく銀行
- 岩手銀行
- 北陸銀行
- 七十七銀行
- 山形銀行
- 東邦銀行
- 常陽銀行
- 群馬銀行
- 千葉銀行
- 第四北越銀行
- 八十二長野銀行
- 静岡銀行
- 清水銀行
- 百五銀行
- 三十三銀行
- 滋賀銀行
- 京都銀行

- 南都銀行
- 紀陽銀行
- 池田泉州銀行
- 山陰合同銀行
- 伊予銀行
- 百十四銀行
- 福岡銀行
- 佐賀銀行
- 肥後銀行
- 鹿児島銀行
- 琉球銀行
- 沖縄銀行
- 国際協力銀行
- 東日本銀行
- 東京スター銀行
- 北日本銀行
- 仙台銀行
- きらやか銀行
- 徳島大正銀行
- 愛媛銀行
- 福岡中央銀行
- 豊和銀行
- 沖縄海邦銀行
- みなと銀行
- 信金中央金庫
- 苫小牧信用金庫
- 室蘭信用金庫
- 釧路信用金庫

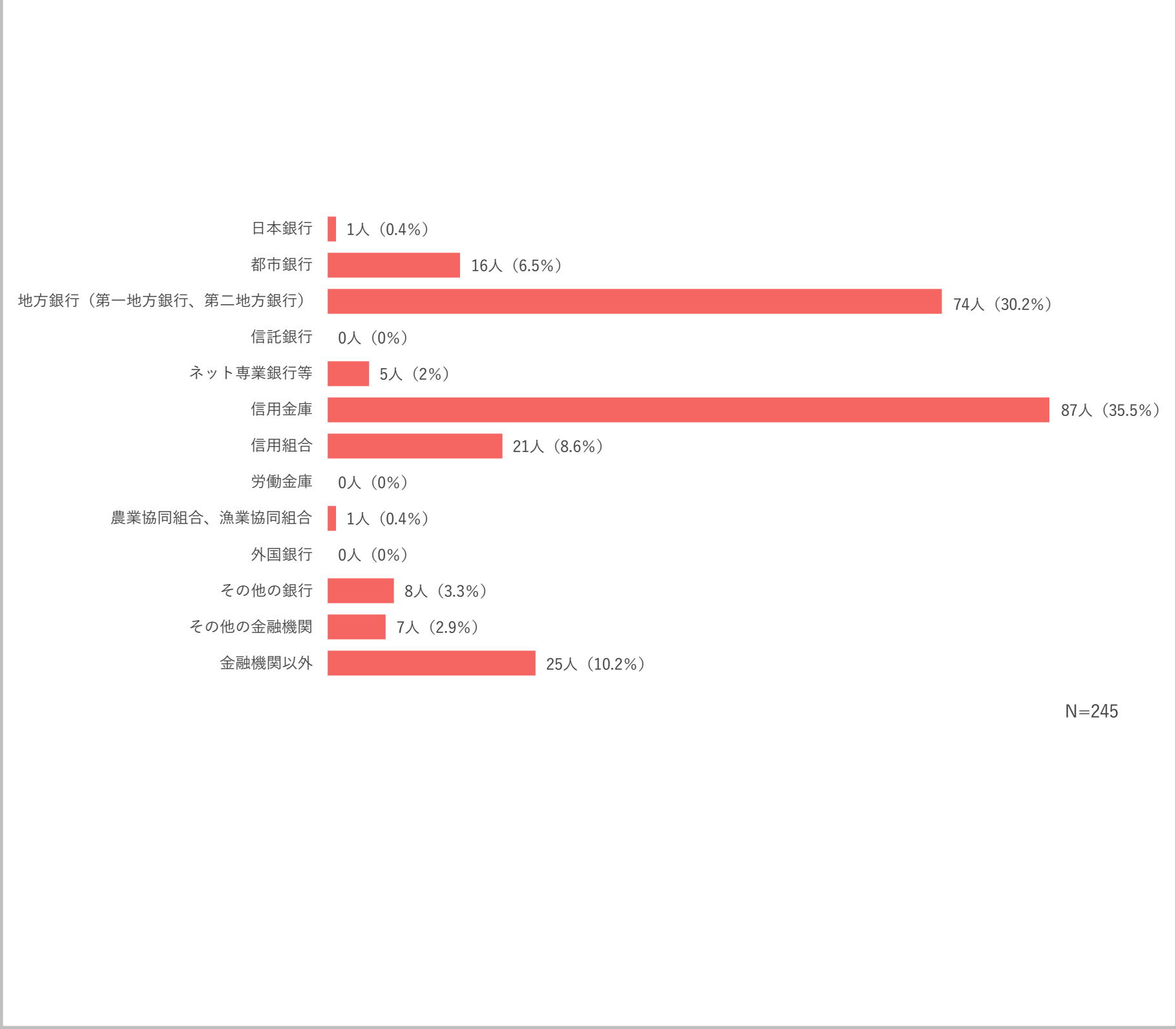
- 帯広信用金庫
- 青い森信用金庫
- 一関信用金庫
- 鶴岡信用金庫
- 福島信用金庫
- 結城信用金庫
- 足利小山信用金庫
- 川崎信用金庫
- 青木信用金庫
- 川口信用金庫
- 埼玉縣信用金庫
- 青梅信用金庫
- 朝日信用金庫
- 芝信用金庫
- さわやか信用金庫
- 巣鴨信用金庫
- 足立成和信用金庫
- 東京三協信用金庫
- 小松川信用金庫
- 東京東信用金庫
- 横浜信用金庫
- かながわ信用金庫
- 湘南信用金庫
- さがみ信用金庫
- 甲府信用金庫
- 飯田信用金庫
- 福井信用金庫
- 銚子信用金庫

金融サイバーセキュリティカンファレンス 2026 春 | 主な申込企業一覧（金融機関コード順、敬称略） -2/2

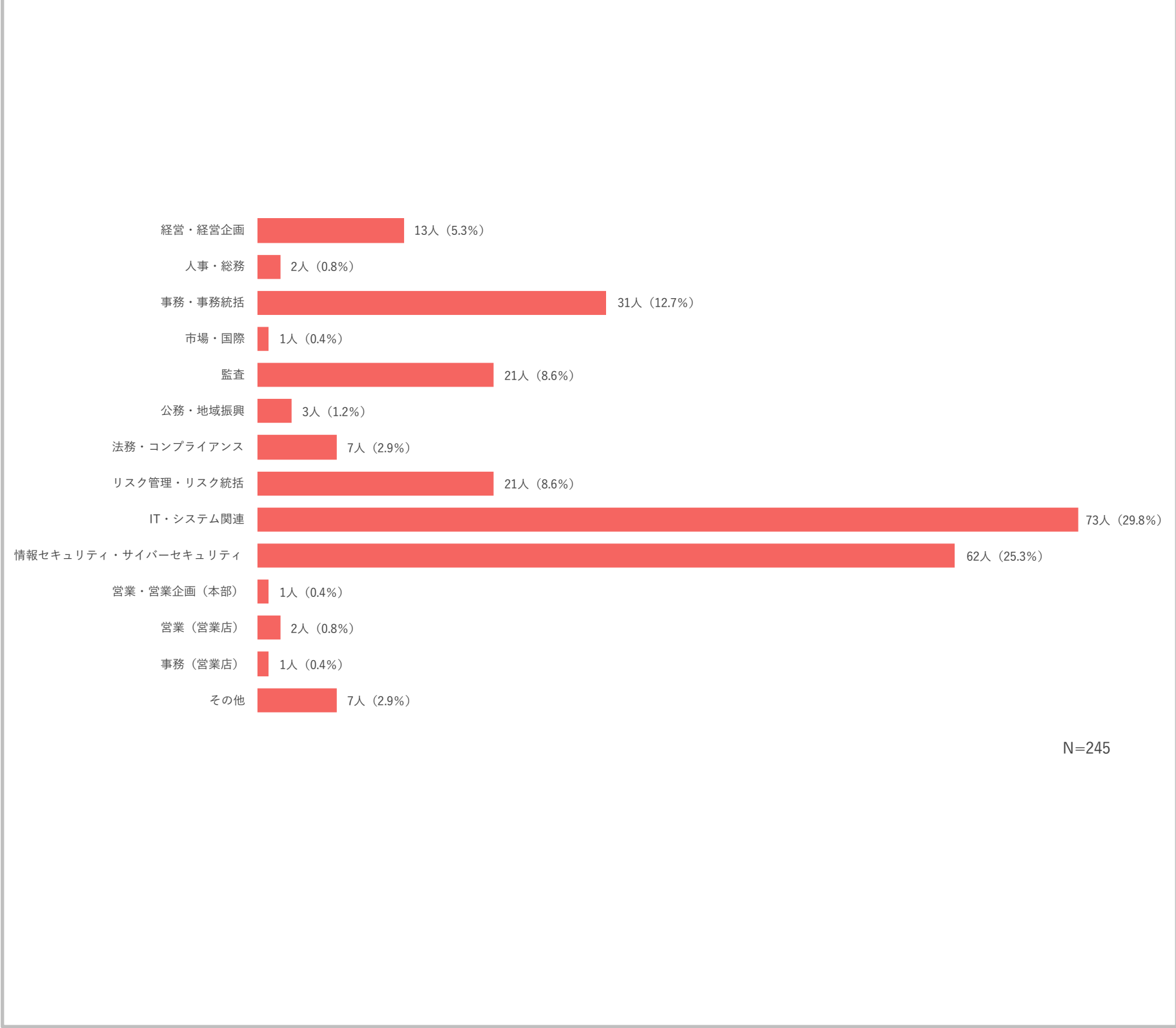
- 金沢信用金庫
- のと共栄信用金庫
- 高岡信用金庫
- 興能信用金庫
- 富士宮信用金庫
- 島田掛川信用金庫
- 岡崎信用金庫
- 西尾信用金庫
- 蒲郡信用金庫
- 碧海信用金庫
- 半田信用金庫
- 中日信用金庫
- 北伊勢上野信用金庫
- 大垣西濃信用金庫
- 関信用金庫
- 京都中央信用金庫
- 京都北都信用金庫
- 大阪信用金庫
- 大阪シティ信用金庫
- 永和信用金庫
- 兵庫信用金庫
- 姫路信用金庫
- 播州信用金庫
- 但馬信用金庫
- 淡路信用金庫
- 但陽信用金庫
- 大和信用金庫
- 新宮信用金庫
- きのくに信用金庫
- 吉備信用金庫
- 玉島信用金庫
- 呉信用金庫
- 東山口信用金庫
- 飯塚信用金庫
- 大川信用金庫
- 鹿児島相互信用金庫
- 北央信用組合
- 那須信用組合
- あかぎ信用組合
- 群馬県信用組合
- 長野県信用組合
- 房総信用組合
- 豊橋商工信用組合
- 滋賀県民信用組合
- 大阪協栄信用組合
- 近畿産業信用組合
- 兵庫県警察信用組合
- 神戸市職員信用組合
- 福泉信用組合
- 佐賀東信用組合
- 大分県信用組合
- 農林中央金庫
- なぎさ信用漁業協同組合連合会
- 西日本シティ銀行
- みずほフィナンシャルグループ
- 九州フィナンシャルグループ
- 日本証券金融
- 住宅金融支援機構
- 愛知銀行
- auペイメント
- 伊藤忠テクノソリューションズ
- SBI証券
- 警視庁
- しんきん共同センター
- セブン&アイ・ホールディングス
- SOMPOホールディングス
- 損害保険ジャパン
- 第一ネオ生命保険
- 大同生命保険
- タニウム
- ちばぎん証券
- 日本総合研究所
- 日本郵政
- ニッセイプラス少額短期保険
- フィデアホールディングス
- プルデンシャル・ジャパン・テクノロジー
- 毎日新聞社
- 三井住友カード
- 明治安田システム・テクノロジー
- 楽天Edy
- りそなデジタル・アイ
- ロッソオートジャパン
- 全国信用金庫協会
- 全国信用組合中央協会

金融サイバーセキュリティカンファレンス 2026 春 | 視聴者向け主催アンケート

金融機関分類

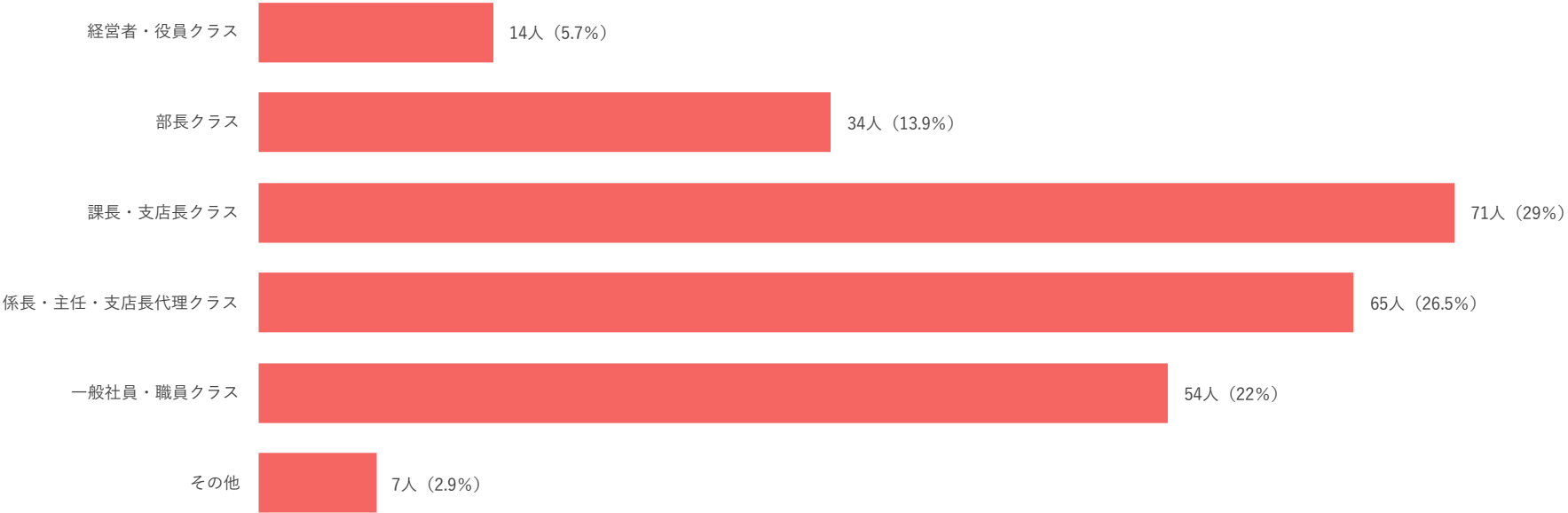


職種



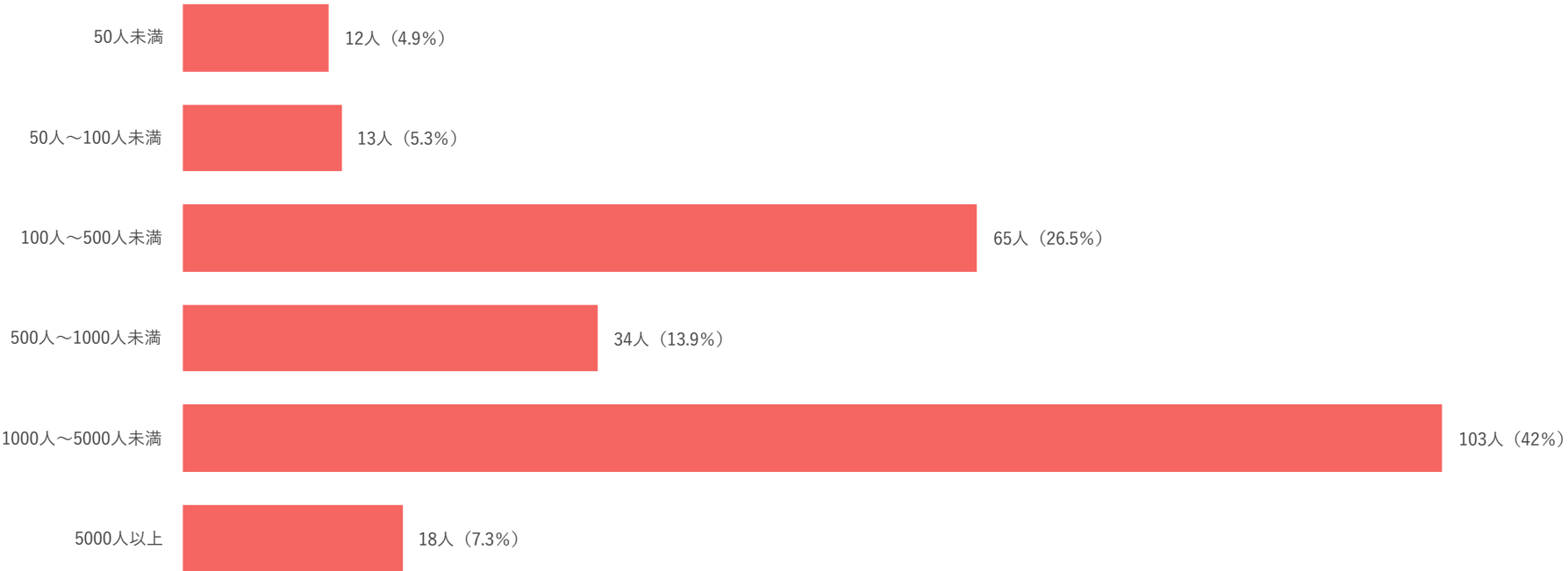
金融サイバーセキュリティカンファレンス 2026 春 | 視聴者向け主催アンケート

役職

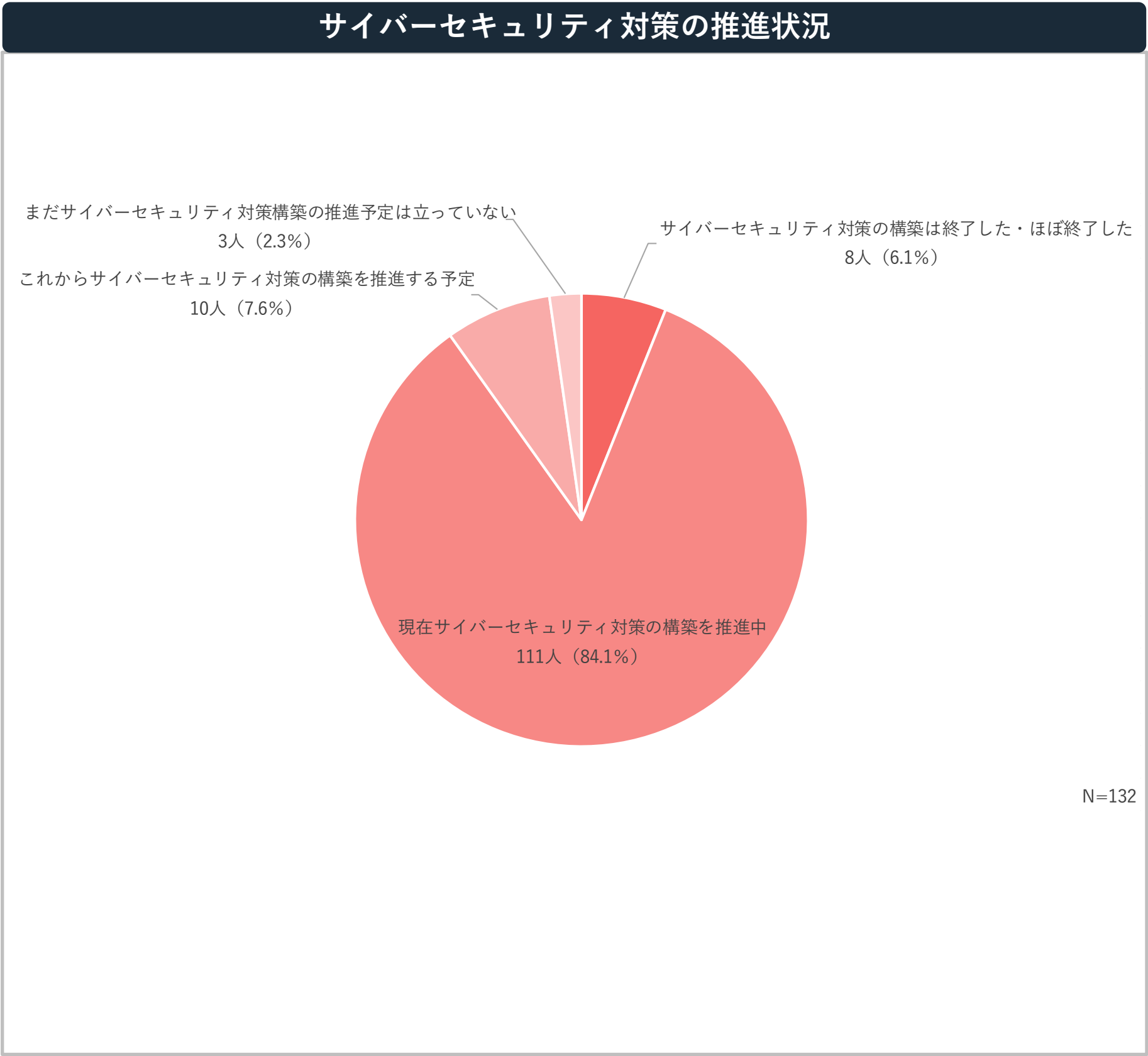
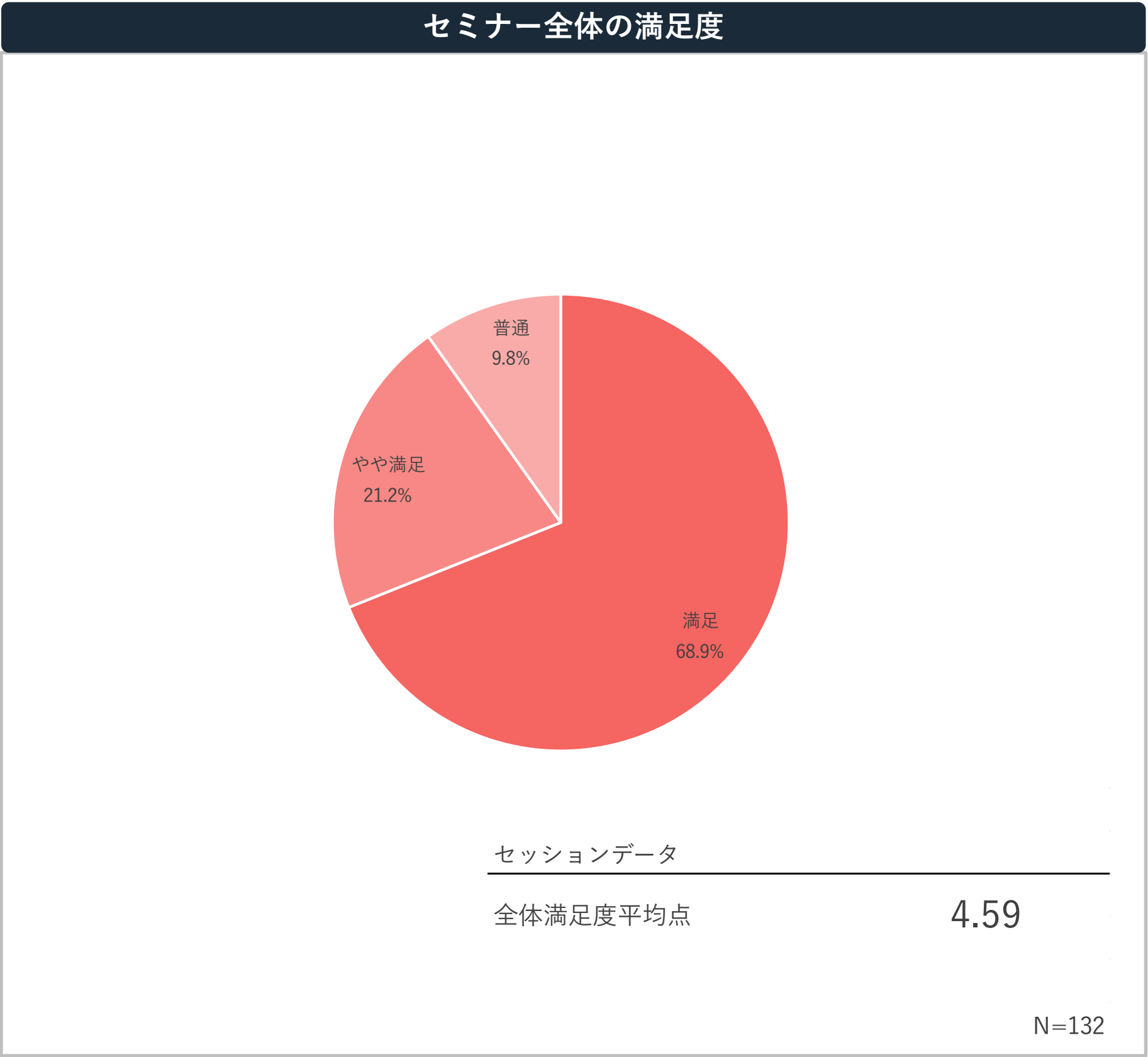


N=245

従業員規模



N=245





一般社団法人 金融財政事情研究会

ITmediaビジネス
O N L I N E

アイティメディア株式会社

〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル13F

<https://promotion.itmedia.co.jp/contact>

担当：営業本部